

令和3年度 中学校「学習評価・計画表」 教科【技術】 学年【2年】 担当 長谷川 剛

知 知識・技能
 思 思考・判断・表現
 態 主体的に学習に取り組む態度

月	単 元	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) お お む ね 満 足	判 断 の 基 準 A と B の 違 い な ど	評 価 方 法 場 面 時 期
4・5・6月	情報の技術の原理・法則と仕組み	・コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについてまとめる。	知	・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。	・情報手段が発達してきた経過や特徴を理解し、身近な機器の中に使われているコンピュータや情報通信ネットワークの役割について調べようとしている。	定期テスト ワークシート 提出物
			思			
			態	・主体的に情報の技術について考えようとしている。	・主体的に情報の技術について考え具体的に理解している。	
		・情報のデジタル化の方法をまとめる。	知	・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。	・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について、情報をデジタル化することのプラス面、マイナス面も含めて理解している。	
			思			
			態			
		・生物育成の技術の目的を知る。	知	・生物を育てる技術の目的について理解している。	生物を育てる技術の目的について、具体例と関連付けながら理解している。	
			思			
			態	・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。	・主体的に生物育成の技術について考え具体的に理解している。	
7・8・9月	生物育成の技術による問題解決	・作物の育成環境を調節する技術について調べる。	知	・作物の育成環境を調節する技術について理解している。	・作物の育成環境を調節する技術について、身の回りの作物を例に環境と関連付けながら理解している。	定期テスト ワークシート 提出物
			思	・育成する作物に適した環境条件について考えている。	・育成する作物に適した環境条件について複数の視点から具体的に考えている。	
			態			
		・スプラウトの育成を行い、育成環境を調節する技術を体験する。	知	・育成環境を工夫してスプラウトを育成することができる技能を身に付けている。	・市販のスプラウトと比較しながら、育成環境を工夫して目的に合わせたスプラウトを育成することができる。	
			思			
			態			
		・作物の成長を管理する技術について調べる。	知	・作物の成長を管理する技術について理解している。	・育成の目的に合わせた管理技術について理解している。	
			思			
			態			
		・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考える。	知			
			思	・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気付くことができる。	・生活や社会における生物育成の技術を具体的に上げ、主体的に技術を考えようとしている。	
			態			
	エネルギー変換の技術の原理原則	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について調べる。	知	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。	・エネルギー変換の技術について、身近な機器の仕組みと結び付けて具体的に理解している。	
			思	・送電配電の技術の工夫について考えている。	・送電配電の技術の工夫について電気を安定的に供給する仕組みと関連付けて考えている。	
			態	・主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。	・主体的にエネルギー変換の技術について具体的に理解している。	